

平成30年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 堺市南区御池台校区連合自治会		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 業務運営委員 森川 尚志 TEL 072-293-7840 FAX 072-298-6465 Mail morikawa@sakai.zaq.ne.jp	
代表者氏名 連合自治会長 戎谷 悦子			
部門名 学校・NPO・任意団体等部門	事例名 防災宿泊訓練でマンホールトイレを実体験		
事例の概要 未来の防災リーダーを育成しよう。 トイレはマンホールトイレ以外使うべからず！！ 夏休みの期間を利用した親子防災宿泊訓練を企画し、児童や親ら約30人が下水道直結型マンホールトイレを勉強し、組立て、使用、片づけまで行いました。			
			
○企画した背景 当校区自治会では校区独自の避難所運営マニュアルを作り、年2回の訓練の都度、課題を抽出し改善してきました。また「汚い」「臭い」と負のイメージを持たれがちな災害時のトイレは、市で整備した下水道直結のマンホールトイレの活用により避難所の衛生環境が向上することを、訓練を通じて校区住民へ周知してきました。しかし、実際に使ったことが無く、特に、夜間の使用に不安がありました。そこで、親子をターゲットにした避難所生活の体験を通して、マンホールトイレの使用体験、若い親世代の防災意識の向上と、将来避難所運営に関わる子どもたちを防災リーダーの担い手として発掘したく企画しました。			
○企画内容 マンホールトイレの組立、夕方から翌朝まで使用、清掃・片づけまで実施しました（過去にマンホールトイレ組立訓練経験者が講師となり仕組みとメリットを説明した後、参加者自身がトイレを組み立て、訓練中のトイレはマンホールトイレ以外使用不可としました）。また、実際の避難所類似体験を多くの人にさせていただくため、防災アトラクション、空き缶で作った簡易燃料で炊き出し体験、ドローンによる被害状況確認の体験、体育館やテントの宿泊体験など、様々なプログラムを用意しました。			
			
			
			
○参加者の様子 子どもたちから「マンホールトイレは面白い」「下水道に流れるのに臭くなかった」「夏休みの思い出になった」、親御さんから「こうした方がもっと使いやすいトイレになる」といった改善案が次々と出されました。当日は、TV局や業界紙から取材に訪れました。			
エントリー事例の特徴 防災のフィールドは、様々な業種の勉強の場になります。今回の事例では、身近な生理現象であるトイレを切り口にすれば排泄の先の下水道を、炊き出しでは食を、ドローンでは最先端の科学を学ぶ場になりました。特に、トイレを体験された方は、マンホールトイレがあるおかげで「下水道は災害時も自分たちの健康や衛生になくしてはならないもの」と感じてくれました。子どもたちから「もっと中は暗いと心配していたが、思ったより明るくて心配なかった」「臭くない」といった抵抗感のない声や、親から「夜間用ライトの常備」といった、マンホールトイレの実体験をきっかけに自分自身の防災力強化に繋げようとする姿勢が見られ、当初想定していた以上の効果があったと思います。			
今回の宿泊体験の経験を基に、学校での防災訓練で子どもたちが積極的に参加した報告が自治会に届いており、未来の防災リーダーの片鱗が伺え嬉しく思っています。			
付属資料の提出	あり ・ なし (どちらかに○)		